



青カミシ

烏山北小学校の教育目標

◎すすんで学びよく考える子ども

○豊かな心をもち仲良く助け合う子ども

○すすんで健康な体をつくる子ども

重点目標 みとめあい まなびあい そだてあい

<目指す児童像> 「かしこい子」「らしさを大事にする子」「きりつ正しい子」「たくましい子」

令和8年1月8日(木)
創立73周年 No. 9

烏山学舎 世田谷区立烏山北小学校 校長 河野 芳浩
〒157-0061 世田谷区北烏山6-3-1 TEL3300-5764 FAX3300-5785
学校HP <http://school.setagaya.ed.jp/kata/>



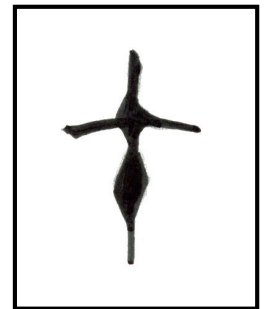
新しい年も 笑顔とやさしさのあふれる からきた小に♪

校長 河野 芳浩

2026年を迎えました。今年の干支は、丙午(ひのえうま)です。午(うま)という字は「杵(きね)」の形から来ており、「逆転」や「交差」を意味するそうです。そのため午年は、これまでの流れが止まり全く新しい流れが始まる年になりやすいと言われています。午年では、日本史上でも国家の転換点となる大きな出来事がいくつも起きています。

646年(大化2年):大化の改新(改新の詔)では、蘇我氏を倒した後、本格的な律令国家を目指して新しい政治方針が示されました。

1582年(天正10年):本能寺の変は、織田信長が明智光秀に討たれ、戦国時代の流れが決定的に変わった日本史上最大の事件の一つです。



午の漢字のもとになった金文

世の中を大きく変化させたこれらの出来事がどちらも午年に起きていました。

現代では、1978年(昭和53年):日本の空の玄関口、成田国際空港が開港し、また中国との関係が正式に正常化しました。こちらは、新しいつながりが生まれる大きな変化となる出来事でした。

2026年の午年は、どのような年になるのでしょうか。「これまでの流れが止まり全く新しい流れが始まる」のであれば、全ての争いごとが終わり、平和で穏やかな新しい生活が始まることを願わずにはいられません。

2025年は、戦後80年ということでも平和について考える機会が多い年でした。同時に、ただ考えては悩み、行動が見いだせずさらに悩みが深まるような歯がゆさを感じることも多い年でした。

半世紀ほど前、インドのコルカタ(カルカッタ)を中心に活動し、病める人、貧しい人、見捨てられた人々のために生涯を捧げたマザー・テレサは、講演会などで「世界平和のために、私たちは何をすべきですか?」と問われた際、決まってこう答えました。

「まず家に帰って、あなたの家族を愛してあげてください」

日本人は外では礼儀正しく一生懸命働くが、一番身近な家族に対しての愛が疎かになっていないか、という彼女なりの問いかけでもありました。そして、小さな一歩の重要性を説きました。

「私たちは、この世で大きなことはできません。大きな愛をもって、小さなことをするだけです。」

「自分一人では世界を変えられない」と無力感を感じる人々に、勇気を与える言葉です。また、「平和は微笑みから始まります。」とも語り続けました。難しい議論や活動よりも、まずは隣の人に微笑みかけることが平和への第一歩であるという意味です。

「命を大切にすること」「自分を大切にするように友達を大切にすること」「立派なからきた小の子になること」

これらは、大切な3つのこととして、子どもたちにいつも語りかけていることです。日々の小さな一歩が生活をよりよく変え、積み重なって身近な平和につながっていくと感じています。新しい年の子どもたちの歩みが、ほほえみとやさしさに満ちたものになりますように。

本年も保護者・地域の皆様とともに、「まなびあい・みとめあい・そだてあい」の教育活動を進めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。